



令和6年度もあとわずかとなりました。「元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱい」で、「明日も通いたくなる学校」をめざし、1年間さまざまな教育活動に取り組んでまいりました。保護者の皆様、地域の皆様、お支えいただきありがとうございました。

今年度の「ならわのわ」最終号は、自分たちの学校生活を自分たちで創り上げる「特別活動」の一部をご紹介します。(特別活動とは、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事のことです。)

ボランティアのみなさんへ感謝の気持ちを伝える

2月17日(月)に、児童会が中心となって「学校ボランティア感謝の会」を行いました。登校を見守ってくださっている安全ボランティアのみなさん、草刈りや樹木の剪定、落ち葉集めなどをしてくださっている環境ボランティアのみなさんに、お手紙を渡して感謝の気持ちを伝えました。ボランティアの代表の方からは、「子どもたちの元気な姿とあいさつから、いつも元気をもらっています。」とうれしいお言葉をいただきました。ボランティアのみなさん、いつも支えていただき、ありがとうございます。

子どもたちにとって、自分たちが多くの人に支えられていることに気づくとともに、感謝の気持ちをお伝えする貴重な機会となりました。



【いつもありがとうございます！】

委員会活動を通して学校生活をよりよいものへ

子どもたちの中にも、全校のみんなが過ごしやすいように、人のためになることに率先して取り組んでくれている人がいます。5・6年生の委員会活動です。成岩小学校では、総務、生活、保健、体育、給食、放送、図書、美化、緑化、ボランティアの委員会があります。委員会名から、その活動内容が伝わってきますが、ボランティア委員会とは何をする委員会なのか気になるところです。

ボランティア委員会は、12月、昇降口で赤い羽根の募金を呼びかけていました。それ以外には、常時活動(ふだん行う活動)として、それぞれができるボランティア活動を行っています。いつ、どこで、何をするのか、計画を立てて取り組んでいます。今年度の取組は、「帰りに教室・廊下の電気を消す」「トイレのスリッパをそろえる」「廊下の窓しめ・かぎの確認をする」「廊下の手洗い場の石けんを元に戻す」「水道の水が出ていたら蛇口をしめる」「階段の矢印(右側を歩くことを示したもの)がはがれていたら貼り直す」などでした。多くの人が気づかないところで、自分のためではなく人のために地道に活動を続けてくれている人がいて、とてもうれしく思いました。



【募金お願いします！】

さらに、1月末には、「たすけあいキャンペーン」を行いました。ふだんボランティア委員

会が行っている活動を全校に広げ、「たすけあい」があふれる温かい学校にするための取り組みでした。

今回はボランティア委員会を中心にご紹介しましたが、さまざまな委員会活動を通して、自分たちの学校生活をよりよくするための活動に取り組んでいます。

自分たちにできること 文房具を学用品バンクへ寄付

「その文房具、捨てないで！寄付が支援につながります」と、6年生が全校に呼びかけ、文房具を集めました。これは6年生のある児童の発案です。使わないままになっていて家で眠っている文房具を、使ってもらえる人へ寄付する活動に取り組みました。多くの人の協力を得て、段ボール2箱分の文房具が集まりました。そして、その文房具を「学用品バンク HANDA」（半田小学校敷地内の市民参画センター）へ寄付することができました。



はじめは一人の思いから、そしてそれが学校全体の動きとなった今回の取組。これは、昨年度取り組んだ能登半島地震被災地への募金活動も同じです。自分たちの願いがかなう児童会・学校として、これからもいろいろなことに取り組んでほしいと思います。

【学用品を使ってください！】

（校長 古市和臣）

令和7年度 ここが変わります

児童の登校時刻

令和6年度 7:50～8:15に登校し、8:25には着席する。

→令和7年度 8:00～8:15に登校し、8:25には着席する。

※詳しくは、学校から保護者に配付した文書をご覧ください

【成岩小トピックス】 ～地域・保護者とともに～



1年生 昔の遊びの会

2/12(水)に喜楽会・白寿会の方にこまやけん玉などの昔の遊びを教してもらいました。



3年生 昔の話を聞く会

2/21(金)に喜楽会・白寿会の方に、昔の生活について教してもらいました。忠魂碑の話も聞きました。



5年生 ミシンボランティア

家庭科のエプロン作りで、ミシンのサポートに保護者の方が入り、子どもたちは完成できました。

成岩小学校ホームページ毎日更新中
<https://www.narawa-e.ed.jp/>

